

東レエンジニアリング西日本は、Engineering と Maintenance の技量を武器に、安全で高品質な製品を提供できる安定成長企業を目指します。

松前事務所（愛媛） 防災訓練を実施

2月19日、会議中の地震とその後の津波の発生を想定して、防災訓練を実施しました。地震発生、避難、点呼、不明者の捜索・救護、津波からの避難など一連の流れを実際に体験し、不測の事態に備えました。

また、当日は全国瞬時警報システム（Jアラート）についての勉強会も合わせて行い、Jアラートは、弾道ミサイル情報、緊急地震速報、大津波警報など、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を国から瞬時に伝達するシステムであるということなどを学びました。

今後も定期的に防災訓練を行い、災害が発生しても落ち着いて対応できるよう準備します。

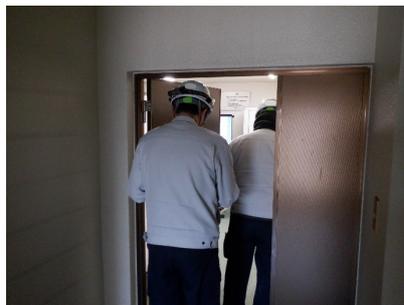
（担当部署：プラント事業部技術3部 Tel: 089-984-8826）



0次避難



1次避難 点呼



行方不明者の捜索



津波からの避難

工事安全監査について

安全管理部では、社内のマニュアルに基づき、建設工事現場の安全監査を実施しています。本監査は事故・災害を未然に防止するとともに、建設工事における安全・衛生・防災・環境管理の水準向上を目的としています。

監査では、建設工事現場の管理状況について、労働安全衛生法をはじめとする関連法令および当社が定める安全・衛生・防災・環境管理に関する規程、基準への適合状況を確認しています。確認結果に基づき、必要に応じて是正および改善を求めています。

2025年は工事現場において計12件の監査を実施しました。今年も継続的に安全監査を実施し、建設工事の安全・衛生・防災・環境管理のさらなる向上と、事故・災害の未然防止に取り組んでまいります。



（担当部署：安全管理部 Tel:077-534-0956）

東レエンジニアリンググループ「M1 CHALLENGE」

東レエンジニアリンググループでは、経費削減・工数削減を目的に、グループ全体で「M1 CHALLENGE」に取り組んでいます。当社でも各サークルが工夫して取り組んでいますので、活動内容について、ご紹介します。

ちりつも作戦⑰ 電磁弁の統一化による業務効率化

(石川保全事業部 それいけTZサークル)

テトロン製造工程ではスペックは同じだが違う型式の電磁弁が多く使用されており、後継機の選定調査や、トラブル発生時に予備品を探す際に、時間がかかっていました。そのため、予備品のマニホールドを組み立てられるものに変更して、電磁弁シリーズの統一化を進めています。

またISO規格の物を選定することで、シリーズが廃止になったとしても後継機もしくは他社製のISO規格の物を使用すればマニホールドの置き換えも不要となるように、選定しました。

結果、後継機の選定、予備品の探査にかかっていた時間を、短縮することができました。

事業を通じた SDGs 取り組み事例を追加しました



断熱塗料の再塗装で、職場環境の改善と冷房効率を向



事務所入り口に LED ライトを設置し、消費電力を抑えてより安全に！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS